

臨床研究「消化器手術症例を対象とした手術部位感染症(SSI)サーベイランスデータを用いた、SSI 発生に関わるリスク因子の検討」についての情報公開

消化器の手術後では、時に創感染や縫合不全、腹腔内膿瘍などの感染症を生じることがあります。これら手術部位感染症（SSI）は入院期間の延長、医療費の増大を招くのみならず、患者さんの QOL を障害することが知られており、適切な予防策による発生率低下が望まれます。そこで当院では 2007 年 11 月よりこれら消化器手術症例を対象として SSI サーベイランスを実施し、SSI 発生状況の把握のみならず、SSI 予防策の実施状況および SSI 発生に影響を与えうる背景因子・手術因子データの収集に努めてきました。今回、当院消化器術後の SSI 発生率を低下させることを目的とし、これら収集し得たデータを用いて SSI 発生のリスク因子の解析と適切な SSI 予防策の検討を行うこととしました。

研究対象期間：2007 年 11 月～2021 年 12 月まで。

研究対象：上記期間に東北労災病院外科・大腸肛門外科で下記の消化器手術を受けた患者。

対象消化器手術：胃手術、結腸手術、直腸手術（直腸固定術を除く）、小腸手術、肝胆道手術、膵臓手術、脾臓手術、その他の腹部手術（ヘルニア手術を除く）。

方法：当院感染対策チームによる SSI サーベイランスによって収集された、患者背景、手術因子、感染予防策施行状況、SSI 発生状況のデータを用いて検討を行い、SSI 発生のリスク因子を明らかとします。解析を行う際には氏名や手術日などの個人を同定できるデータは削除した形で行い、特定の患者さんに直接の不利益がもたらされることはないよう最大限の配慮を行います。

なお、研究に関するお問い合わせ、ご意見、研究協力拒否等のご要望につきましては、研究代表者までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

研究代表者：

独立行政法人労働者健康安全機構 東北労災病院

大腸肛門外科 高橋賢一

TEL 022-275-1111, FAX 022-275-7541

〒981-8563 仙台市青葉区台原4丁目3-21